

分科会評価報告書（令和3年度決算）

（都市経済分科会 No.1）

(所管課, 事業コード) 事業名	(商工観光課 5587) 広域観光対策事業
	※P. 602

評 価	A	<input checked="" type="radio"/> A 十分評価できる <input type="radio"/> C あまり評価できない	<input type="radio"/> B やや評価できる <input type="radio"/> D 全く評価できない
-----	---	---	---

【評価に至った理由】

令和3年度より2代目となる地域おこし協力隊員が東京より移住し活動している。『よそ者』の視点でSNS等を使い、市の情報発信や近年ブームであるサイクリスト向けの観光マップの制作、及びJRや近隣市と連携し各種旅行商品の造成を実施している。また初代地域おこし協力隊員が退任後に市内において起業し、コワーキングスペース、手荷物預かり、レンタサイクル店を実施している。

一方、アントラーズホームタウンDMOは、鹿行を中心とした交流人口の拡大・雇用の創出、地域経済の活性化を行うために、合宿の誘致やウルトラマラソン大会の実施、クラブバスツアー、市移住定住促進調査事業、商社事業を実施している。

水郷三都観光推進協議会では、水郷地域への観光誘客事業として大手旅行会社向けにモニターツアーやフォトコンテスト、東国三社によるシンポジウム、コロナ過におけるバーチャルツアーなどの実施をしている。このことによって、観光客が本市を訪れている。

今後は、神栖市も加わり4市になった東国水郷観光推進協議会での期待できることや初代地域おこし協力隊の定着、アフターコロナ・ウイズコロナを見据え国内からの観光客に加え、海外からのインバウンドの誘客にも改めて尽力し、多くの観光客を迎えられるよう事業展開を期待したい。

今後の事業の対象やさらなる内容の充実は必要であるが、充実した事業の経済効果を考慮して、分科会評価は、「十分評価できる」とする。

今後の方向性	2	1 拡充 <input checked="" type="radio"/> 2 継続 3 改善 4 縮小 5 休止 6 廃止
--------	---	--

【今後の取り組み方と提言】

今後もこれまで培ったノウハウを引継ぎ、鹿嶋市内の観光事業者と意見交換やネットワークをつなぎ、鹿行5市とさらに連携を強化し、さらなる誘客に努めていただきたい。

分科会評価は、「継続」とする。